

高まる米国ハイテク株への警戒感。市場の底は来年1-3月か？ 横山 泰史

業種：日本株ストラテジー

高まる米ハイテク銘柄への決算不安

今月中旬から、日米ともに22年7-9月期の決算シーズン入りしている。主要企業のうち、いくつかは既に決算発表を行った。気になる決算だが、日米で大きく明暗を分けそうである。年初には1ドル115円であったドル円だが、一時は150円突破する円安(約3割)となっていることを考えると、理解しやすいだろう。ドルは対円のみならず、他通貨に対しても独歩高となっている。ドル高は、多くのグローバル米国企業にとってマイナスとなっていることが理解できる。既に発表されたマイクロソフト、アルファベット、メタの22年7-9月期の決算は株式市場の期待を下回るものであった。海外における売上高の比率は、大手IT銘柄が高く、ドル高のマイナス影響を受け易いといえる。

当初とは利上げの意味が大きく異なる

米国の株式市場では、年初からNYダウ、ナスダックともに大きく調整局面を迎えた。この要因として、政策金利の引き上げが語られるが、利上げ当初と足元では、利上げの意味が大きく異なる。利上げの当初は、緩和しすぎた金融政策を正常化する意味合いが強かったが、足元では異なる。予想以上の水準にまで高まったインフレつぶしである。インフレつぶしのために、景気の減速を厭わない利上げの必要性に迫られている。これが現在の米国の姿である。米国経済の先行きについては米国経済の約7割を占める個人消費の底堅さと、家計と企業のバランスシートの強さから、景気が後退しても軽度で収まるソフトランディングの見方を継続している。しかしながら、今後の金融政策次第では、ハードランディングとなる可能性も無きにしも非ずである。そして、現在の株式市場はそのリスクを十分に織り込んでいないといえよう。金利の上昇に打ち止め感があれば、投資家の目は次に企業業績へとシフトする。26日の米ナスダックの動きは典型的な例といえよう。

市場の底入れは来年1-3月か？

順調にいけば、米国の政策金利の引き上げペースは今年の年末から鈍化して、来年3月には打ち止めとなろう。ただし、金利は来年いっぱい高止まりとなる可能性が高いとみている。米国経済については、来年の第3四半期(23年7-9月)から上向いてくるとみているが、そうなると、米国株式市場の底入れは来年第1四半期(23年1-3月)程度になるのではないのか。このため、米国市場の影響を受け易い日本株も来年の1-3月までは上値の重い展開を想定している。

東京市場マーケットデータ

2022/10/26 現在

日経平均	2万7431円
プライム売買代金	2兆7070億円
プライム時価総額	690兆3354億円
日経平均予想PER	12.7倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

2022/10/26 現在

株価前日比

1 レーザーテック	▼1.1%
2 ソフトバンクグループ	1.3%
3 東京エレクトロン	▼0.6%
4 バンクオブイノベーション	44.5%
5 日本郵船	▼2.6%
6 ファーストリテイリング	0.1%
7 キーエンス	1.8%
8 ソニーグループ	0.9%
9 トヨタ	0.1%
10 商船三井	▼3.2%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



出所: Quick

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa